

## 第2期

# 稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 《 骨 子 》

2019年9月

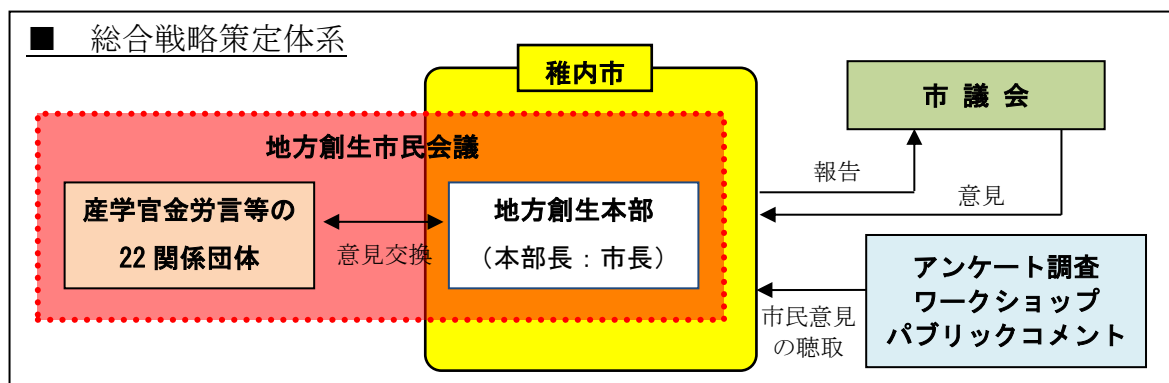
稚 内 市

- 目 次 -

1	はじめに	1
2	対象期間	1
3	国のまち・ひと・しごと創生総合戦略との関係	2
4	第5次稚内市総合計画との関係	3
5	目標設定と進捗管理	3
6	基本目標	3・4
	Ⅰ. 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる	
	Ⅱ. 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる	
	Ⅲ. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を 育てる	
	Ⅳ. 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会を つくる	

## 1 はじめに

- 本市の人口減少は、高度経済成長期における若者の都市部への流出や、排他的経済水域 200 海里による底引き漁船の減船など、様々な要因から、日本の人口減少が始まった 2008 年より 30 年以上も前の 1975 年から始まっています。
- 2015 年に作成した稚内市人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という。）における独自推計によると、本市の人口は 2040 年には 2 万 1 千人、2060 年には 1 万 2 千人にまで減少すると予想されていましたが、2016 年以降は、毎年推計値よりも人口が少なく、加速度的に人口減少が進行している状況であります。
- このような状況から、本市では人口減少を最重要課題と捉え、人口ビジョンと併せて「第 1 期『稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略』」を策定し、産業振興施策や子育て施策などの人口減少対策に精力的に取り組んできましたが、未だ歯止めをかけるまでは至っていません。
- 政府は、第 1 期で根付いた地方創生の意識や取り組みを継続し、「継続を力にする」という姿勢で歩みを確かなものとするため、2019 年 6 月 21 日に閣議決定された「まち・ひと・しごと基本方針 2019」において考え方を示しております。
- 本市においてもこれを受け、人口減少や経済縮小の克服に向けて切れ目のない取り組みを進めるため、今後の基本目標や具体的な施策等を取りまとめた「第 2 期『稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略』（以下、「総合戦略」という。）」を策定します。
- 人口減少問題は、行政のみで解決できる問題ではないことから、総合戦略の策定・推進にあたっては、市民の皆さまはもちろん、周辺自治体、産業・経済界、教育機関、金融機関等の多様な主体の皆さまとともに、このまちの未来を考え行動し、人口減少に対する危機感と問題意識を共有しながら、取り組みを進めていきます。



## 2 対象期間

- 総合戦略の対象期間は、国の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と同様に、2020 年度から 2024 年度までの 5 年間とします。

### 3 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

- 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、地方における様々な政策による効果を集約し、人口減少に歯止めをかけ、東京への一極集中を是正するため、第1期から4つの基本目標を設定しています。
- また、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、第1期の4つの基本目標に向けた取り組みを実施するにあたり、新たな視点に比重を置いて施策を進めることとしています。
- 加えて、地方創生を確実に実現するため、第1期に掲げた「政策5原則」を第2期においても重要な考えとして位置づけた上で、「連携」の位置づけをより明確化していくこととしています。
- 本市の総合戦略においても、これらを勘案しながら基本目標を設定し、各種施策を展開していきます。

#### 《「まち・ひと・しごと創生総合戦略」4つの基本目標》

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 《第2期における新たな視点》

- ① 地方へのひと・資金の流れを強化する
  - ・ 地方移住にも繋がる「関係人口」の創出・拡大
  - ・ 企業や個人による地方への寄附・投資等による資金の流れの強化
- ② 新しい時代の流れを力にする
  - ・ Society5.0の実現に向けた技術の活用
  - ・ SDGsを原動力とした地方創生
- ③ 人材を育て活かす
  - ・ 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
- ④ 民間と協働する
  - ・ 地方公共団体に加え、NPO等の地域づくりを担う組織や企業と連携
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
  - ・ 女性、高齢者、障がい者、外国人等の誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む
  - ・ 地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

#### 《「まち・ひと・しごと創生」政策5原則》

- ① 自立性…構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者等の自立につながる。
- ② 将来性…地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。
- ③ 地域性…各地域の実態に合った施策を、国は受けて側の視点に立って支援する。
- ④ 直接性…最大限に成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。
- ⑤ 結果重視…PDCAサイクルの下、数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

#### 4 第5次稚内市総合計画との関係

- 総合計画は、市民と行政が互いに協力し、まちの将来像の実現に向けて取り組むための、まちづくりの指針となるものです。
- 本市の総合計画は、進捗状況や成果が市民の皆さまにも伝わるよう、目指すべき目標を数値等で明確に示し、全ての市民の皆さまと共有できるわかりやすい構成となっています。
- 総合戦略における施策の基本的方向、具体的な施策については、総合計画を踏まえて展開していきます。

※第5次稚内市総合計画と第2期総合戦略との関連イメージ図を4ページに掲載

#### 5 目標設定と進捗管理

- 総合戦略では、本市における人口の現状分析、人口の将来展望を提示した人口ビジョンを踏まえ、明確な「基本目標」を設定するとともに、基本目標を達成するための具体的な施策ごとに、その効果を客観的に検証できる指標「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。
- 総合戦略の進捗管理にあたっては、毎年度、重要業績評価指標（KPI）により、それぞれの施策の効果を検証するとともに、市民や関係団体等の皆さまからもご意見等をいただきながら、ともに改善・推進していく仕組み（PDCA サイクル）を確立します。

#### 6 基本目標

- 本市の第2期総合戦略においては、稚内市人口ビジョンで示す将来展望を実現するため、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標を勘案しつつ、本市の実情に応じた以下の4つの基本目標を設定し、目標達成に向けて取り組みを進めます。

##### 《稚内市人口ビジョンで示す将来展望》

##### 「2060年の総人口を20,000人以上確保することを目標とする。」

##### 【基本方針（抜粋）】

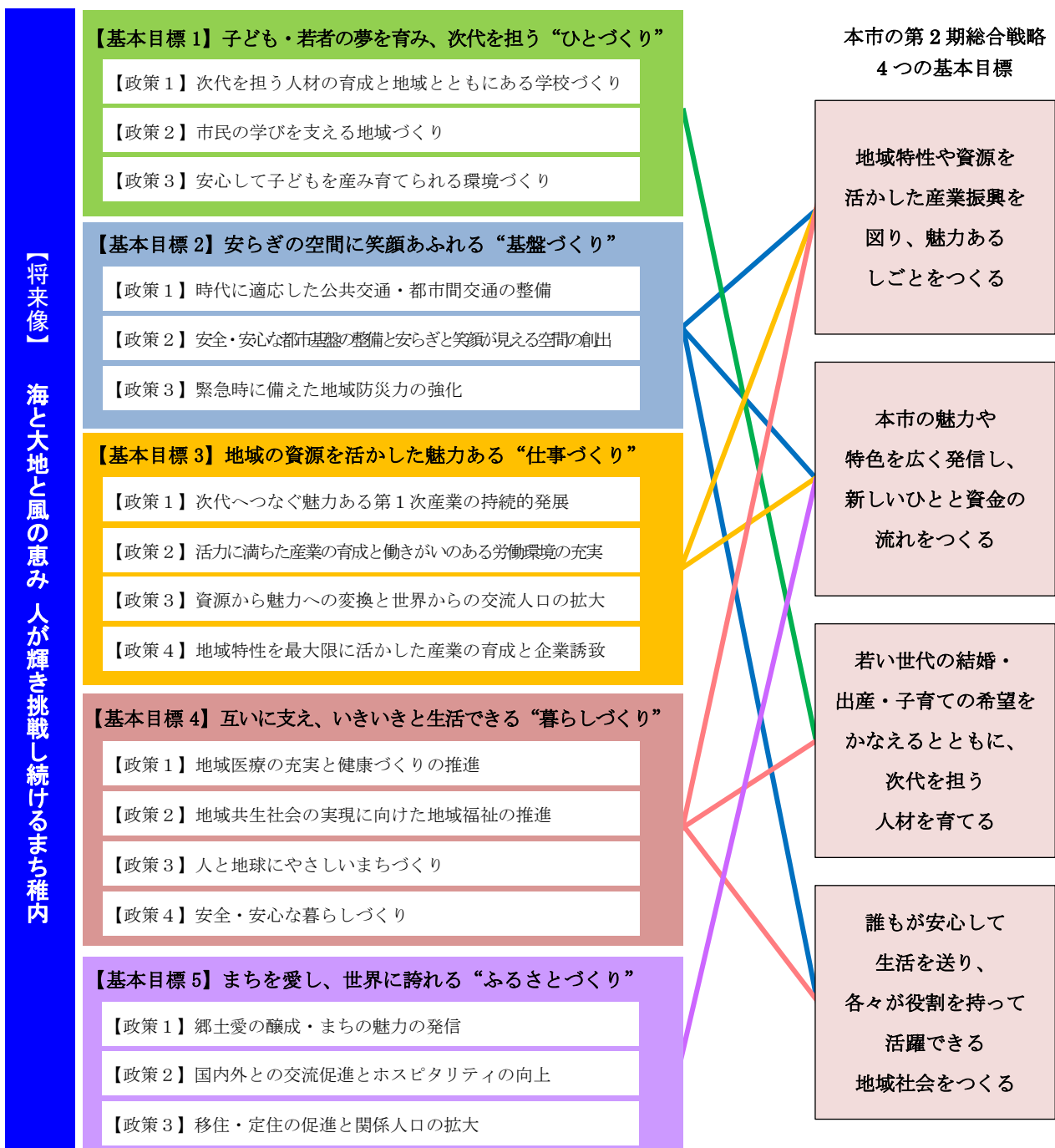
1. 地域の資源・特性を活かした産業振興により、就労の場を創出し、就職を理由とした転出の抑制を図るとともに、進学等により転出した若者のUターンを促進する。
2. 地域の魅力や特色を発信し、交流人口の増加や移住者の受入等による転入者の増加を目指すとともに、若者が定着する拠点を整備する。
3. 若い世代が結婚し、子どもを安心して産み育てられるよう、結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援を行い、出生率の向上を目指す。
4. 誰もが安全で安心して住み続けられるよう、地域医療をはじめとした住環境や教育環境の充実を図り、定住人口の増加を目指す。

《4つの基本目標》

1. 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる
2. 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を育てる
4. 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会をつくる

《稚内市第5次総合計画と第2期総合戦略の関連イメージ図》

稚内市第5次総合計画の体系図



## 《 基本目標 1 》

### 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる

本市の基幹産業である漁業や酪農業を将来にわたり発展させるため、生産性向上に対する取り組みへの支援や、国内外の消費者の需要を捉えた地域資源の高付加価値化を推進し、力強く稼げる産業を育成します。

また、高いポテンシャルを秘めている風力エネルギーや経済成長を続けるロシア・サハリン州との交流など、本市の気候や地理的特性を活かして、関連企業の誘致や地域産業との結びつきを強化し、さらにはI・TやA・Iなどの先端技術の導入を進め、若い世代が魅力を感じられる仕事づくりを進めます。

#### 【基本目標1における指標・数値目標】

- 納税義務者一人当たりの課税対象所得
- 生産年齢人口

#### 【想定される施策】

- 農林水産業における担い手の確保・育成の強化
- 水産資源の確保に向けた支援
- 新エネルギーを活用した新産業の創出
- 地域エネルギー会社設立に向けた取り組みの強化
- ロシア・サハリン州との交流促進
- 地域特性・地域資源を活用した企業誘致活動の強化
- 創業や事業規模拡大に対する支援・優遇制度の充実
- 先端技術導入に向けた支援制度の制定
- コミュニティビジネスの創設に向けた支援
- 中心市街地の再生に向けた取り組みの強化
- 学卒者の市内就業・人材還流の促進に向けた取り組みの強化
- 市外へ進学した若者へのUターン促進策の創出 など

#### 【想定されるKPI】

- 漁獲量、生乳生産量
- 稚内港貿易額
- 設備投資に係る融資件数
- 新たに創業した事業者数
- 高校卒業後、就職を希望する者のうち、本市での就職を希望する生徒の割合

など

## 《 基本目標 2 》

### 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる

経済波及効果の高い観光産業のさらなる振興を図るため、雄大に広がる自然やそこから生まれる良質な食など、本市の地理的優位性や地域資源を最大限に活かしつつ、新たな魅力の発掘や受入体制を充実させるとともに、これらの魅力を広く国内外に発信して観光入込客数の増加を目指します。

また、将来的な移住・定住にも繋がる関係人口の増加や企業版ふるさと納税等の活用による資金の地方還流を図り、新しいひとと資金の流れを創出します。

#### 【基本目標 2 における指標・数値目標】

- 観光入込客数
- 稚内に関心のある人の数

#### 【想定される施策】

- 観光客の受入体制の強化
- 広域周遊観光の促進に向けた連携強化
- 稚内空港を核とした誘客促進
- 戦略的なセールス・情報発信の強化
- 地域特性を活かしたイベントの創出
- クルーズ船の誘致促進と受入体制の強化
- 農山漁村を活用した体験型観光の充実
- 体験移住・体験就業の受入態勢の整備
- 移住希望者に対する支援体制の強化
- ガバメントクラウドファンディングの活用
- 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用 など

#### 【想定されるKPI】

- 宿泊客延べ数・訪日外国人宿泊客延べ数
- 移住体験者数
- クルーズ船寄港数
- ガバメントクラウドファンディングを活用した事業数
- 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用件数 など



## 《 基本目標 3 》

### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を育てる

若い世代がこのまちで「結婚して子どもを産み育てたい」と思えるよう、結婚・妊娠・出産・子育て段階における切れ目ない支援を行うとともに、各家庭の状況やニーズに応じた支援体制の充実を図り、安心して子どもを産み育てられる環境を充実させます。

また、教育環境のより一層の充実を図るため、地域特性を活かした産業教育の推進や「わからない型キャリアデザイン」を確立させ、ふるさと稚内への誇りや郷土愛を育むとともに、このまちの次代を担う子どもたちを育てます。

#### 【基本目標 3 における指標・数値目標】

- 合計特殊出生率
- この地域で子育てをしたいと思う割合

#### 【想定される施策】

- 結婚・出産・子育てに対する機運醸成の取り組み強化
- 結婚希望者に対する支援体制の整備
- 妊婦や妊娠を望む夫婦に対する支援の充実
- 子育て世帯に対する経済的支援の充実
- 保育所入所待機児童数の減少に向けた取り組みの強化
- 地域ニーズに応じた子育て支援体制の整備
- 学力向上に向けた教育体制の充実
- 地域特性を活かした産業教育の開催支援
- 高校生に対する起業教育の実施
- インターンシップに関する活動支援
- 時代に適した I C T 人材の育成
- 教職員に対する実践的な研修の推進                      など

#### 【想定される K P I 】

- 婚姻件数・未婚率
- 保育所入所待機児童数
- 全国学力・学習状況調査の平均正答率
- 自分には、良いところがあると考えている子どもの割合                      など

## 《 基本目標 4 》

### 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会をつくる

誰もが安全で安心して住み続けられるまちをつくるため、深刻な地域課題である医療体制の充実に向けた取り組みを継続するとともに、防災対策や持続可能な地域公共交通の確保等による日常生活の環境整備を進め、社会減の抑制を目指します。

また、急速な少子高齢化と同時に、グローバル化や男女共同参画社会が進展し、価値観が多様化している現代において、性別、年齢、国籍、障がいの有無等に関わらず、誰もが各々の役割と生きがいを持って活躍できる地域共生社会の構築を目指します。

#### 【基本目標 4 における指標・数値目標】

- 社会増減数
- 地域活動への参加割合

#### 【想定される施策】

- 医師確保に向けた取り組みの強化
- 地域医療を支える体制の強化
- 地域包括ケアシステム体制の充実
- 地域の状況に合わせた防災体制の整備
- 効率的な地域公共交通の整備
- 空き家対策の強化・有効活用の促進
- 高齢者や障がい者の社会参加の促進
- 離職女性の就業支援体制の強化
- 生涯学習環境の充実
- ワーク・ライフ・バランスの普及に向けた取り組みの強化
- 外国人に対する支援体制の整備            など

#### 【想定されるKPI】

- 市立稚内病院の医療従事者数
- 介護予防に資する通いの場等の箇所数
- 自主防災組織結成数
- 路線バス等を利用する人の割合
- 共生型地域福祉拠点の数
- 障害者地域活動支援センターの利用者数            など